



国土交通省
信濃川河川事務所

記者発表資料

平成19年4月17日

大河津分水殉職者慰霊祭の挙行について

○第72回大河津分水殉職者慰霊祭を次のとおり、行いますのでお知らせします。

日時 平成19年4月20日(金) 9時30分～10時30分
場所 燕市大川津(旧分水町)信濃川河川事務所 大河津出張所 構内
主催 北陸地方整備局 信濃川河川事務所 大河津出張所
式次第 別紙のとおり
出席者 別紙のとおり

なお当日、信濃川大河津資料館において企画展「咲き誇る大河津分水の桜」を開催しておりますので、併せてお知らせします。

(企画展開催期間:平成19年4月3日～5月13日)

【参考】

○大河津分水の概要

越後平野は、信濃川等が運び出した土砂によって形成された沖積平野であり、大河津分水路ができるまでは、3年に1度は洪水被害を被る水害常襲地帯でした。

大河津分水は、江戸時代からの悲願が実って、明治42年に着工し、大正11年に通水しましたが、昭和2年自在堰の陥没によりその機能を失ったため、突貫工事により復旧され、昭和6年に完工しました。

通水以来大河津分水は、80年以上にわたって越後平野を洪水氾濫から守り続け、地域の発展を支えてきたもので、越後平野の社会活動の維持・発展のためには最も重要な施設です。

○大河津分水殉職者慰霊祭について

慰霊祭は、分水工事15ヶ年間(M42～T12)における殉職者のため、渡辺文二・田沢実入・石原三保吉等(有志・在官者等)が発起人になって寄付金を募り、大正12年10月に、西蒲原郡国上村字石湊地先(現燕市渡部地先)の大河津分水路河畔(タぐれの岡)に慰霊碑を建て、招魂祭を執行し、遺族を弔慰したのが始まりです。(当時、殉職者84名の氏名を石碑「大河津分水工事殉職者之碑」に刻印)

翌大正13年10月には、第1回目の慰霊祭を挙行し、以来2～3年毎に秋に実施していましたが、昭和11年5月には分水第二公園へ遷座し、その後は毎年桜の咲く時期に実施(戦時中及び終戦直後一時中断)しています。

現在は、その後施工された信濃川補修工事、及び大河津分水完工後、維持管理等を行う上で殉職された16名(昭和40年度が最終)を含め、100名の氏名が石碑に刻印されています。

記者発表クラブ

長岡市政記者会

問い合わせ先

北陸地方整備局信濃川河川事務所
大河津出張所 TEL 0256-97-2121

出張所長 大熊 義史

慰靈祭 式次第

1. 開式の辞
1. 主催者式辞 大河津出張所長
1. 挨拶 北陸地方整備局長
1. 挨拶 信濃川河川事務所長
1. 来賓挨拶 大河津分水改修促進期成同盟会長 新潟市長
1. 来賓挨拶 信濃川・中ノ口川治水事業促進期成同盟会長 三条市長
1. 来賓挨拶 燕市長
1. 献花 参列者全員
1. 閉式の辞

慰靈祭 出席者(予定)

燕市 市長
議会議長
長岡市 市長
議会議長

燕警察署長
長岡地域振興局長
三条地域振興局長

大河津分水改修促進期成同盟会長
(新潟市長)
信濃川中ノ口川治水事業促進期成同盟会長
(三条市長)

北陸地方整備局長
北陸地方整備局河川部長
信濃川下流河川事務所長
信濃川河川事務所長
大河津資料館館長

白根郷土地改良区理事長
亀田郷土地改良区理事長
新津郷土地改良区理事長
燕市大川津区長
燕市五千石区長

他大河津分水関係者

参考

大河津分水殉職者慰霊祭 平成18年度の開催状況



慰霊碑(大河津分水工事慰霊之碑)



北陸地方整備局長の挨拶



来賓挨拶



献花